

平成29年度事業報告

1. 平成29年度優秀業績の表彰

平成29年度優秀業績については慎重に検討された結果、

石和田 稔彦氏（千葉大学真菌医学研究センター 感染症制御分野） 他5名

「Clinical and bacteriological analyses of bacteremia due to *Corynebacterium striatum*」

(Journal of Infection and Chemotherapy Vol.22, No.12 p790-3)

以上、1件に二木賞が授与されることとなった。

加藤 博史氏（国立感染症研究所感染症疫学センター実地疫学専門家養成コース）

「Epidemiological and Clinical Features of Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome in Japan, 2013-2014」

(PLOS ONE; 11(10):e0165207; 2016 他6名)

上記の研究業績に対して日本感染症学会北里柴三郎記念学術奨励賞が授与されることとなった。

2. 講演会

平成29年4月6日～8日、京王プラザホテルにおいて第91回学術講演会を岩田敏会長のもとに開催した。

a 会員の業績研究発表

口演：320題

ポスター：195題

b 会長講演

2題

1 現代における感染制御と日本感染症学会

司会：日本医療研究開発機構 岩本 愛吉

一般社団法人日本感染症学会理事長, 慶應義塾大学医学部感染症学教室 岩田 敏

2 教室の周術期感染対策, 初めの3年と石の上の30年

司会：東邦大学 炭山 嘉伸

東邦大学医療センター大橋病院外科 草地 信也

c 招請講演

3題

1 Quinolone and Multidrug Resistance and the Challenge to Develop Antimicrobials

司会：杏林製薬株式会社 平井 敬二

Infectious Disease Division and Infection Control Unit, Massachusetts General Hospital and Harvard Medical School, USA David C. Hooper

2 耐性菌による感染症をめぐる国連総会での日本からの提言

司会：東京慈恵会医科大学 柴 孝也

厚生労働省 塩崎 恭久

3 AMEDのミッション：データシェアリングによる課題解決

司会：慶應義塾大学医学部感染症学教室 岩田 敏

日本医療研究開発機構 末松 誠

d 特別講演

3題

1 新時代を迎えた腸内常在菌研究

司会：東京慈恵会医科大学葛飾医療センター泌尿器科 清田 浩

理化学研究所イノベーション推進センター辨野特別研究室 辨野 義己

2 我が国における予防接種・ワクチンの昨日、今日、明日

司会：長崎大学医学部第二内科 河野 茂

川崎市健康安全研究所 岡部 信彦

3 敗血症に対する血液浄化法の現状と未来

司会：東邦大学医療センター大橋病院外科 草地 信也

千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学 織田 成人

e 教育講演

11題

1 進化し続けるシーケンス技術と公衆衛生・感染症診断への応用

司会：大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 門田 淳一

国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター 黒田 誠

2 ウイルス性肝炎, 最新のマネジメント

司会：太田記念病院 佐藤 吉壮

東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野 四柳 宏

3 微生物由来天然物をリード化合物とする創薬の方向性

司会：慶應義塾大学薬学部 八木澤守正

北里大学大学院感染制御科学府 砂塚 敏明

4 抗菌薬 TDM ガイドライン改訂版(第2版)：行間を読み取る

司会：同志社女子大学薬学部臨床薬剤学研究室 森田 邦彦

兵庫医科大学感染制御学 竹末 芳生

5 肺炎マイコプラズマ感染症の今日的課題点—マクロライド耐性率の低下から適正診療の確立へ—

司会：川崎医科大学小児科学講座 尾内 一信

札幌徳洲会病院小児科 成田 光生

6 非結核性抗酸菌症の新たな展開

司会：済生会山形済生病院呼吸器内科 武田 博明

慶應義塾大学医学部感染制御センター 長谷川直樹

7 Neglected Tropical Diseases

司会：東北大学大学院医学系研究科総合感染症学分野 賀来 満夫

東京都保健医療公社荏原病院感染症内科 大西 健児

8 What do we know about the diagnostic, treatment and epidemiology of *Clostridioides difficile* infection in Europe

司会：国際医療福祉大学医療福祉国際協力学分野 渡邊 治雄
Institute of Clinical Microbiology, University of Szeged, Hungary,
National Reference Laboratory for Anaerobes in Hungary Elisabeth Nagy

9 プロバイオティクス、臨床応用への新しい方向性

司会：杏林大学保健学部免疫学教室 田口 晴彦
ミヤリサン製薬株式会社東京研究部 高橋 志達

10 感染症の病理診断：感染症医療における病理診断の重要性と病理医の役割

司会：奈良県立医科大学感染症センター 三笠 桂一
藤田保健衛生大学医学部病理学 堤 寛

11 Herpes Zoster—the disease and the vaccine

司会：京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学 一山 智
The Westmead Institute for Medical Research and University of Sydney, Australia Anthony L Cunningham

f シンポジウム

19題

1 定期に乗り損ねたワクチン—今何をしなければいけないのか—

司会：北里大学生命科学研究所感染制御・免疫学部門 中山 哲夫
江南厚生病院こども医療センター 尾崎 隆男

- 1) 定期に乗り遅れたワクチン—ムンプスワクチン—いま何をすべきか 江南厚生病院こども医療センター 後藤 研誠
- 2) 伊勢地区におけるロタワクチン導入後のロタウイルス胃腸炎入院患者の変化 伊勢赤十字病院小児科/新生児科 伊藤美津江
- 3) ロタウイルスワクチン 国立感染症研究所感染症疫学センター 神谷 元
- 4) ヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチンの現状と将来展望—国内外におけるNational Immunization Programのながれ— 日本大学医学部産婦人科学系産婦人科学 川名 敬
みさとファミリークリニック 松田 正
- 5) 百日咳に対する追加予防接種への提言
- 6) 百日咳：再興感染症としての対策を考える 北里大学生命科学研究所感染制御・免疫学部門 中山 哲夫

2 海外から持ち込まれる耐性菌—One Health を踏まえた対策—

司会：東京医科大学微生物学分野/東京医科大学茨城医療センター感染制御部 松本 哲哉
大分大学医学部附属病院感染制御部 平松 和史

- 1) Bacterial isolates in intensive care units of tertiary care hospitals in Dhaka, Bangladesh
Dept of Anesthesiology, BSMMU, Shahbag, Dhaka, Bangladesh AK Qumrul Huda
- 2) Prevalence of Resistant bacteria in exand inhospital environments in Bangladesh

東京医科大学微生物学分野 Anwarul Haque

- 3) 海外における抗菌薬使用の現状と薬剤耐性 東北大学病院総合感染症科 具 芳明
- 4) 入院時監視培養により分離されたコリスチン耐性 *Klebsiella pneumoniae*カルバペネマーゼ (KPC) 産生肺炎桿菌の解析 帝京大学医学部微生物学講座 西田 智
- 5) 海外から持ち込まれた薬剤耐性菌の自験例と国内の現状 広島大学院内感染症プロジェクト研究センター 菅井 基行
- 6) 食用動物における抗菌薬の使用状況と耐性菌の拡散 酪農学園大学獣医学群食品衛生学 田村 豊

3 災害時における感染対策と感染症診療

司会：近畿大学医学部附属病院安全管理部感染対策室 吉田耕一郎
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野 泉川 公一

- 1) 東日本大震災における感染症診療体制—受け入れ側の実情と問題点— 聖マリアンナ医科大学感染症学講座 國島 広之
- 2) 東日本大震災における沿岸地域の中規模総合病院で行った診療状況：細菌学的データを含めて分かったこと 宮城厚生協会坂総合病院呼吸器科 生方 智
- 3) 熊本地震における感染対策の組織的取組みと今後の課題—地元コーディネーターの立場から— 熊本大学医学部附属病院感染免疫診療部・感染制御部 川口 辰哉
- 4) 避難所における感染症対策—被災保健所の立場から— 熊本県東北広域本部阿蘇地域振興局保健福祉環境部 (阿蘇保健所) 服部希世子

- 5) 熊本地震後の感染対策における大学病院、民間病院、自衛隊ICTの連携 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野、長崎大学病院感染制御教育センター 田代 将人
- 6) 熊本地震は東日本大震災の教訓を活かしたか 鹿児島大学病院医療環境安全部感染制御部門 徳田 浩一
- 7) 災害時における感染対策と感染症診療 神戸大学大学院医学研究科微生物感染症学講座感染治療学分野 岩田健太郎
- 8) 災害時の感染症診療体制の構築—医療側から見た行政の取組みと課題—学会の立場から— 日本環境感染学会災害時感染制御検討委員会、岩手医科大学附属病院医療安全管理部感染対策室 岩手県いわて感染制御支援チーム統括部 櫻井 滋

4 日本産業衛生学会合同シンポジウム—どこが難しい？職場の麻しん風しん対策

司会：国立感染症研究所感染症疫学センター 神谷 元
イオン株式会社グループ人事部 増田 将史

- 1) 麻疹、風疹の疫学情報 国立感染症研究所感染症疫学センター第一室 福住 宗久
- 2) 関西国際空港における麻疹の集団感染 関西エアポート株式会社 石川 浩司
- 3) 職場における風疹の集団感染事例 三菱電機株式会社鎌倉製作所健康増進センター 清水 少一
- 4) 職場での麻疹風疹対策の課題—産業医の立場から— イオン株式会社グループ人事部 増田 将史
- 5) 企業と連携した風しん排除への取り組み (自治体からの報告) 職場で始める！感染症対応力向上プロジェクト」について 東京都健康保健局健康安全部感染症対策課 杉下 由行

5 特殊病態下や小児、肥満における感染症治療の考え方

司会：兵庫医科大学病院薬剤部 高橋 佳子
慶應義塾大学薬学部実務薬学講座 松元 一明

- 1) 腎機能低下時における感染症治療の考え方 愛媛大学医学部附属病院薬剤部 田中 亮裕
- 2) 持続血液濾過透析、血液透析 済生会熊本病院薬剤部 柴田 啓智

- 3) 敗血症における感染症治療の考え方 東京医科大学病院薬剤部 添田 博
- 4) 小児における感染症治療の考え方 東京都立小児総合医療センター薬剤科 諏訪 淳一
- 5) 特殊病態下や小児, 肥満における感染症治療の考え方～肥満～ 東京女子医科大学病院薬剤部 浜田 幸宏
- 6 国際的に脅威となるウイルス感染症と対策 司会：国立感染症研究所ウイルス第1部 西條 政幸
国立国際医療研究センター国際感染症センター 大曲 貴夫
国立国際医療研究センター国際感染症センター 大曲 貴夫
- Introduction
- 1) 未知の疾患の流行, 国際社会の反応, 揺れ動く世論：私たちは何に価値を見だし, 何を指すのか 東京都保健医療公社豊島病院感染症内科 足立 拓也
- 2) エボラウイルス病に対するFavipiravirの有効性 杏林大学保健学部臨床検査技術学科 小林 治
- 3) 黄熱：アンゴラにおける再興と国際的な対策 国立国際医療研究センター国際感染症センター国際感染症対策室 加藤 康幸
- 4) ジカウイルス感染症 国立国際医療研究センター病院国際感染症センター 忽那 賢志
- 5) 日本におけるジカの脅威に備える～ブラジル パライバ州での活動経験から 国立国際医療研究センター国際医療協力局 法月正太郎
- 6) 新型インフルエンザとその対策 防衛医科大学校感染症・呼吸器内科 川名 明彦
国立感染症研究所ウイルス第1部 西條 政幸
- Closing Summary
- 7 より良い臨床微生物検査のために～その問題点と対策を明らかにする～ 司会：奈良県立医科大学感染症センター 笠原 敬
神戸大学医学部附属病院検査部/感染制御部 中村 竜也
公立玉名中央病院診療技術部 永田 邦昭
九州大学病院検査部 清祐麻紀子
神戸大学医学部附属病院検査部/感染制御部 中村 竜也
株式会社エスアールエル特殊細菌検査課 島川 宏一
東京女子医科大学感染症科 吉田 敦
- 8 市中病院で実践するAntimicrobial Stewardship—多職種連携と薬剤師の役割— 防衛医科大学校感染症・呼吸器内科, 陸上自衛隊中央即応集団対特殊武器衛生隊 今井 一男
司会：東北医科薬科大学薬学部臨床感染症学教室 藤村 茂
愛知医科大学病院感染症科 山岸 由佳
東北労災病院薬剤部 中居 肇
- 1) 感染症専門医不在の病院における認定薬剤師の役割
- 2) 管理職兼務としての感染制御専門薬剤師の役割～薬剤部門と感染部門をどうマネジメントしていくか～ 鈴木回生病院薬剤管理課 木村 匡男
- 3) 地域の基幹型急性期病院で実践する Antimicrobial Stewardship 医療生協さいたま埼玉協同病院薬剤科 若林 純平
- 4) 専門看護師の立場からASTにおける抗菌化学療法認定薬剤師に期待すること 東北公済病院感染対策室 富樫 ふみ
- 5) 「感染症専門医・ICDの視点から」感染症認定薬剤師のいない状況下での専任薬剤師との連携と課題について 大阪警察病院感染管理センター 水谷 哲
- 9 感染性心内膜炎発症予防における争点—歯科観血処置時に抗菌薬投与を行うことは意味があるのか? 司会：東海大学医学部付属八王子病院歯科・口腔外科 坂本 春生
大阪医科大学附属病院感染対策室 浮村 聡
- 1) Is antibiotic prophylaxis to prevent infective endocarditis worthwhile? Department of Cardiology, Taunton and Somerset NHS Trust, UK Mark Dayer
- 2) 歯科観血処置時に抗菌薬投与を行うことは意味があるのか?—循環器関連4学会合同研究班の立場から— 東北医科薬科大学地域医療学/総合診療科 大原 貴裕
- 3) 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン(歯科)の立場から 東海大学医学部付属八王子病院歯科・口腔外科 坂本 春生
- 4) 感染性心内膜炎発症予防のための歯科観血処置時に抗菌薬投与：「誰に」、「どのように」、「なぜ」を解決するために 大阪医科大学循環器内科 宗宮 浩一
- 10 大きく変化する微生物検査と臨床に与える影響 司会：奈良県立医科大学微生物感染症学講座 矢野 寿一
亀田総合病院臨床検査部 大塚 喜人
- 1) インフルエンザとRSウイルスを同時検出可能なマイクロ流路チップを用いた direct リアルタイム RT-LAMP 法による POC検査法の開発 公立昭和病院小児科 大場 邦弘
- 2) 感染症診断・感染制御におけるナノポアシーケンサーの有用性 埼玉医科大学医学部感染症科・感染制御科/臨床感染症センター 樽本 憲人
- 3) 菌種同定の迅速化と薬剤感受性結果報告から抗菌薬選択へアプローチ 千葉大学医学部附属病院検査部 村田 正太
- 4) 中小規模の一般病院における積極的な感染症遺伝子検査の活用 天草地域医療センター検査部 磯崎 将博
- 5) 市中病院で実施可能な High speed deescalation に貢献できる検査体制の構築 京都医療センター臨床検査科, 同感染制御部 福田 修
名古屋第二赤十字病院医療技術部 原 祐樹
- 6) 感染症医がいない医療施設における“臨床”微生物検査室の役割
- 7) 医師として微生物検査室に目指して欲しいこと 慶應義塾大学医学部臨床検査医学/感染制御センター 上養 義典
- 11 薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン2016—2020 司会：東邦大学医学部微生物・感染症学講座 館田 一博
慶應義塾大学薬学部実務薬学講座 木津 純子
国立国際医療研究センター国際感染症センター 大曲 貴夫
日本化学療法学会創薬促進検討委員会委員長 館田 一博
中浜医院 中浜 力
- 1) 薬剤耐性 (AMR) アクションプランの概要
- 2) 耐性菌の現状と2020年予測
- 3) 抗菌薬使用の現状と課題 (開業医の立場)

- 4) 抗菌薬使用の現状と課題（大学病院の立場）
長崎大学医歯薬学総合研究科臨床感染症学，長崎大学病院感染制御教育センター 泉川 公一
- 5) アジア太平洋地域の入院患者における抗菌薬スチュワードシッププログラム：システムティックレビューとメタアナリシス
東京都立多摩総合医療センター感染症科 本田 仁
- 6) 薬剤耐性（AMR）による経済負荷とその対策の費用対効果について
明治薬科大学公衆衛生・疫学 赤沢 学
- 12 性感染症の治療における Up to date
司会：札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座 高橋 聡
三田市民病院 荒川 創一
あいクリニック 伊藤 晋
- 1) 淋菌感染症に対するセフトリアキソン 1g単回投与
2) 淋菌性尿道炎および非淋菌性尿道炎；AZM2g・単回
岐阜大学医学部附属病院泌尿器科 安田 満
- 3) 非淋菌性尿道炎；STFX 200 mg/day
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科泌尿器病態学 和田耕一郎
- 4) 欧米のガイドラインの光と影
神戸大学泌尿器科，神戸大学保健学科 重村 克巳
- 5) 非淋菌性尿道炎の第一選択薬に何を選択すべきか
産業医科大学医学部泌尿器科 濱砂 良一
- 13 日本結核病学会共同シンポジウム 我が国での抗酸菌感染症の最前線―診断と治療の最新情報―
司会：旭川医科大学病院呼吸器センター 大崎 能伸
近畿中央胸部疾患センター 鈴木 克洋
仙台赤十字病院呼吸器内科 三木 誠
- 1) 結核の現状と診断
2) 抗酸菌でのキノロン薬の使い方
複十字病院呼吸器センター呼吸器内科 佐々木結花
- 3) 非結核性抗酸菌症の治療
長野県立須坂病院呼吸器・感染症内科 山崎 善隆
- 4) *M. abscessus* complex 症の診断と治療
東京病院呼吸器センター 川島 正裕
- 5) 自己免疫性非結核性抗酸菌症～抗インターフェロン- γ 自己抗体陽性症例の検討～
新潟大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器・感染症内科 坂上 拓郎
- 14 日本熱帯医学会合同シンポジウム 蚊媒介感染症；今日における対応の課題
司会：国立国際医療研究センター研究所熱帯医学・マラリア研究部 狩野 繁之
国立感染症研究所感染症疫学センター 大石 和徳
新潟市民病院救急科 遠藤 真佑
- 1) デングショック症候群の臨床経験
2) わが国における薬剤耐性マラリアの治療
国立国際医療研究センター研究所熱帯医学・マラリア研究部 狩野 繁之
- 3) 蚊媒介感染症の疫学状況とわが国の対応
国立感染症研究所 FETP 松井 佑亮
- 4) ウイルス学・病理学的視点：ジカウイルス感染症
国立感染症研究所感染病理部 鈴木 忠樹
- 5) 2014年のデング熱国内流行から学ぶ今後の防蚊対策
国立感染症研究所昆虫医学部 沢辺 京子
- 15 救急医療の現場における感染対策―合同ワーキングによって得られた成果― 司会：慶應義塾大学医学部救急医学 佐々木淳一
広島大学大学院救急集中治療医学 志馬 伸朗
- 1) 学会主導による救急医療の現場における感染対策の構築―日本救急医学会「救急外来部門における感染対策検討委員会」合同WGによる活動―
慶應義塾大学医学部救急医学 佐々木淳一
- 2) ハード面からの検討
国立国際医療研究センター国際感染症センター国際感染症対策室 加藤 康幸
- 3) 救急外来における感染対策の実施体制～ソフト面を中心に～
国立成育医療研究センター感染防御対策室・感染症科 宮入 烈
- 4) 救急外来部門における微生物検査体制
東邦大学医療センター大橋病院外科 渡邊 学
- 5) 集中治療室における抗菌薬適正使用
兵庫県立こども病院感染症科 伊藤 雄介
- 16 小児感染症関連ガイドラインのエッセンスと実際
司会：福島県立医科大学小児科 細矢 光亮
慶應義塾大学医学部小児科 新庄 正宜
- 1) 小児呼吸器感染症診療ガイドライン2017改訂のポイント
千葉大学真菌医学研究センター感染症制御分野 石和田稔彦
- 2) 小児急性中耳炎診療ガイドライン
和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 保富 宗城
- 3) 小児の臓器移植および免疫不全状態における予防接種ガイドライン2014
福岡歯科大学全身管理部門総合医学講座小児科学分野 岡田 賢司
- 4) 抗菌薬 TDM ガイドライン～小児領域について～
杏林大学医学部付属病院医療安全管理室・感染対策室 西 圭史
- 17 今後の抗菌薬開発の方向性―AMR対策アクションプランを受けて― 司会：医薬品医療機器総合機構国際協力室 佐藤 淳子
杏林製薬株式会社 平井 敬二
- 1) AMR対策アクションプランを踏まえた臨床現場からの提案
東京慈恵会医科大学感染制御部 堀 誠治
- 2) グローバルな視点からの新薬開発の現状と今後の展望
MSD 株式会社グローバル研究開発本部 白沢 博満
- 3) 有用なシーズの新規抗菌薬としての実用化に向けて
塩野義製薬株式会社医薬研究本部 山野 佳則
- 4) 今後の抗菌薬開発の方向性 行政からの提案
厚生労働省大臣官房審議官（医薬担当） 森 和彦
- 5) The Global Antibiotic R&D Partnership (GARDP) : a public health approach to fight antimicrobial resistance (AMR) .
Drugs for Neglected Diseases initiative (DNDi) JeanPierre Paccaud
- 18 感染症遺伝子検査の現状と展望
司会：東京医科大学微生物学分野/東京医科大学茨城医療センター感染制御部 松本 哲哉
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野 柳原 克紀
- 1) 感染症遺伝子検査についてのアンケート報告
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野 柳原 克紀
- 2) 感染制御・疫学解析での遺伝子検査の活用
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学，長崎大学大学院検査部 賀来 敬仁
- 3) 感染症診療における遺伝子検査の活用
京都大学医学研究科臨床病態検査学 高倉 俊二
- 4) 感染症遺伝子検査の展望～全自動遺伝子検査システムを中心に～
愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学 三嶋 廣繁
- 5) 感染症遺伝子検査の未来～次世代シーケンサーなどを中心に～
東邦大学医学部微生物・感染症学講座 館田 一博
- 19 変貌する侵襲性真菌症
司会：千葉大学真菌医学研究センター真菌症研究部門臨床感染症分野 亀井 克彦

	国立感染症研究所真菌部	宮崎 義継
1) 真菌感染症の新しい診断法	国立感染症研究所真菌部	中村 茂樹
2) アスペルギルスの薬剤耐性	千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野	渡辺 哲
3) カンジダの抗真菌薬耐性	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座臨床感染症学分野	宮崎 泰可
4) 真菌感染症診療の新しいガイドライン	日本赤十字社医療センター感染症科/感染対策室	安藤 常浩
5) 多様化する真菌症	国立がん研究センター東病院総合内科, 国立がん研究センター中央病院造血幹細胞移植科	冲中 敬二
g パネルディスカッション		3題
1 Clinical target breakpoint を考える	司会：愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学 株式会社キューリン検査部	三嶋 廣繁 村谷 哲郎
1) アンピシリン (ABPC) のブレイクポイントを再考する	琉球大学医学部附属病院感染症・呼吸器・消化器内科学 (第一内科) 沖縄県立宮古病院呼吸器内科	平井 潤
2) セファゾリン	愛知医科大学病院感染症科, 愛知医科大学病院感染制御部	小泉 祐介
3) モンテカルロシミュレーションを使用したガレノキサシンのブレイクポイントとレボフロキサシンの有効性比較	神戸大学医学部附属病院検査部/感染制御部	中村 竜也
4) フルコナゾールにおけるブレイクポイントについて再考する	三重大学医学部附属病院薬剤部	村木 優一
2 肺炎における非定型病原体の役割を再考する	司会：川崎医科大学小児科学講座 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野	尾内 一信 柳原 克紀
1) 小児でのニューキノロン, テトラサイクリンならびにステロイド使用について<Pros側>	川崎医科大学小児科	大石 智洋
2) 小児でのニューキノロン, テトラサイクリンならびにステロイド使用について<Cons側>	東京都立小児総合医療センター感染症科	堀越 裕歩
3) 呼吸器感染症における肺炎クラミジアの役割	川崎医科大学総合内科学 I	宮下 修行
4) 成人市中肺炎において, 肺炎クラミジアは原因病原体としてどの程度重要か? <Cons側>	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野 (第二内科)	迎 寛
5) 非定型肺炎, ウイルス関連肺炎における他菌種との混合感染の状況	坂総合病院呼吸器科	高橋 洋
6) 最新の成人肺炎疫学研究から学ぶマイコプラズマ肺炎	Adult Pneumonia Study Group Japan (APSGJ), 長崎大学熱帯医学研究所臨床感染症学分野	森本浩之輔
3 周術期抗菌薬使用の Pros & Cons	司会：広島大学感染症科 京都医療センター外科・ICT 東海大学医学部消化器外科 日本医科大学多摩永山病院消化器外科 昭和大学病院消化器・一般外科	大毛 宏喜 畑 啓昭 鈴木 俊之 丸山 弘 藤森 聡
h ベーシックレクチャー		11題
1 HIV 感染症/AIDS を基本から学ぶ	司会：国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター 東京医科大学八王子医療センター感染症科	岡 慎一 藤井 毅
2 CPE に対する感染対策	司会：浜松医療センター感染症内科 名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染制御学	矢野 邦夫 八木 哲也
3 感染症をめぐる保険診療の適正化	司会：北多摩病院 杏林大学医学部付属病院病院管理部	戸塚 恭一 小林 治
4 新型インフルエンザ	司会：札幌医科大学医学部小児科学講座 防衛医科大学校感染症・呼吸器内科	堤 裕幸 川名 明彦
5 MSSAからMRSAへ, HAMRSAからCAMRSA へ	司会：帝京大学医学部微生物学講座 北里大学生命科学研究科感染制御研究センター	斧 康雄 花木 秀明
6 日本における寄生虫症診療とその問題点	司会：杏林大学医学部総合医療学教室感染症科 東京都保健医療公社荏原病院感染症内科	河合 伸 中村 (内山) ふくみ
7 感染症情報の上手な収集と利用法ABC	司会：国立感染症研究所感染症疫学センター 国立感染症研究所感染症疫学センター	多屋 馨子 砂川 富正
8 少子・高齢化社会におけるGBS感染症の本質的变化	司会：横浜労災病院こどもセンター 慶應義塾大学医学部感染症学教室	城 裕之 諸角美由紀
9 渡航者向けワクチン接種の基本	司会：川崎医科大学小児科学教室 東京医科大学病院渡航者医療センター	中野 貴司 濱田 篤郎
10 ニューモシスチス肺炎	司会：倉敷中央病院呼吸器内科 弘前大学大学院医学研究科呼吸器内科学	石田 直 田坂 定智
11 インフルエンザワクチンの最新知識	司会：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科学 神奈川県警友会けいゆう病院小児科・感染制御	森内 浩幸 菅谷 憲夫
i ワークショップ		3題
1 周術期抗菌薬療法の“適正”を考える	司会：埼玉医科大学病院感染症科・感染制御科 福島県立医科大学感染制御学講座	前崎 繁文 金光 敬二
1) 泌尿器科領域における周術期予防抗菌薬の適正使用～経尿道的尿管碎石術 (TUL) について～	産業医科大学泌尿器科	松本 正広
2) 急性胆嚢炎の胆汁細菌からみた抗菌薬適正使用に関する検討	東邦大学医療センター大橋病院外科	浅井 浩司
3) 術後 SSI 分離菌の術後経過と薬剤感受性に対する検討	一三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス (SSI 2010年) のサブ解析— 東邦大学医療センター大橋病院外科	新妻 徹

4)	名古屋大学医学部附属病院における周術期抗菌薬適正化への取り組み	名古屋大学医学部附属病院中央感染制御部, 名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染統御学	森岡 悠
5)	AMRアクションプラン成果目標達成のための術後感染予防抗菌薬の投与日数適正化による効果	東京医科大学病院感染制御部・感染症科	中村 造
2	抗菌薬の適正使用, 当院の取り組み	司会: 東京女子医科大学病院薬剤部 群馬大学医学部附属病院感染制御部	木村 利美 徳江 豊
1)	Antimicrobial Stewardship 推進のためのデータベースソフト“PASSION”の開発と有用性の評価	熊本大学医学部附属病院薬剤部, 熊本大学医学部附属病院感染制御部	尾田 一貴
2)	菌血症診療における Active Consultation の有用性の検討	富山大学附属病院感染症科	東 祥嗣
3)	介護療養型医療施設における多剤耐性菌の現状と対策—慢性期療養病床からみた抗菌薬適正使用—	新京浜病院	有馬 陽一
4)	地域の基幹型急性期病院における抗菌薬適正使用のとりくみ	埼玉協同病院内科	山田 歩美
5)	小児の抗菌薬適正使用管理プログラムの効果	東京都立小児総合医療センター感染症科	山中 崇之
6)	病院・職種情報連携の抗菌薬適正使用 (AS) : 地域4病院5年間で抗菌薬使用・血液培養の密度, 緑膿菌の感受性をアウトカムに	感染対策ネットワーク下関: 下関市立市民病院, 下関医療センター, 関門医療センター, 下関総合病院, 下関市立市民病院感染管理室	吉田 順一
7)	最近4年間のカンジダ血症治療の現状—AST による抗真菌薬適正使用支援に向けて—	名古屋記念病院 AST, 名古屋記念病院薬剤部	和知野千春
3	再考, MRSAとCD対策	司会: 金沢医科大学病院感染症科 虎の門病院臨床感染症科	飯沼 由嗣 荒岡 秀樹
1)	リネゾリドを適正使用するために用量調整は必要か?	富山大学附属病院感染症科	山本 善裕
2)	リネゾリドの血液毒性を予測する目標薬物血中濃度の検討	富山大学大学院医学薬学研究部 (薬学) 保険薬局学研究室	福森 史郎
3)	新規併用プレートをを用いたMRSAに対する抗菌薬併用効果の <i>in vitro</i> での検討	東邦大学微生物・感染症学講座	小野 大輔
4)	皮膚軟部組織感染 (SSTI) における腎機能別ダブトマイシンのPharmacokinetic (PK) 解析—第3相試験サブ解析—	兵庫医科大学病院感染制御部	植田 貴史
5)	結核病床入院患者における <i>Clostridium difficile</i> infectionの臨床的検討	大阪市立十三市民病院呼吸器内科, 大阪市立十三市民病院 ICT	山入 和志
6)	<i>Clostridium difficile</i> binary toxin の自然免疫細胞に及ぼす影響	東邦大学医学部大学院生命応答系小児科学, 東邦大学医学部微生物・感染症学講座, 東邦大学医療センター大橋病院	小西 弘恵
j	文献レビュー	司会: 北里大学生命科学研究所感染制御・免疫学部門	中山 哲夫
1)	小児感染症	国立成育医療研究センター感染症科	宮入 烈
2)	高病原性ウイルス感染症	国立感染症研究所ウイルス第1部	西條 政幸
3)	耐性菌	奈良県立医科大学微生物感染症学講座	矢野 寿一
k	要望演題		3 題
1	菌血症・敗血症	司会: 京都大学医学研究科臨床病態検査学 東京慈恵会医科大学附属柏病院感染制御部	高倉 俊二 堀野 哲也
1)	カンジダ血症における血液培養複数回陽性例の調査	兵庫医科大学病院感染制御部	植田 貴史
2)	劇症型A群β溶血性連鎖球菌感染症に対する血液浄化療法の有効性	伊勢赤十字病院感染症内科	宮崎 悠
3)	複数菌種による菌血症における起炎菌別感染部位の推測	東京医科大学病院感染制御部・感染症科	佐藤 昭裕
4)	地域急性期病院の二次救急においてSepsis3を適用する臨床的意義	埼玉協同病院初期研修医	松村 憲浩
2	日和見感染症	司会: 東京慈恵会医科大学感染制御科 新潟市民病院感染症内科/呼吸器内科	吉田 正樹 塚田 弘樹
1)	血液疾患を有する患者におけるβ-D-グルカンの比較検討	長崎大学病院検査部	木村由美子
2)	nonHIV <i>Pneumocystis jirovecii</i> pneumonia 症例における診断時血清 KL6 の予後に与える影響	倉敷中央病院呼吸器内科	熊谷 尚悟
3)	原発不明癌に対するbevacizumabを含む化学療法中に発症した劇症型A群溶血性連鎖球菌感染症の1例	市立宇和島病院内科血液内科	金子 政彦
4)	HIV感染者における <i>Helicobacter pylori</i> 感染	東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科	安達 英輔
3	小児感染症	司会: 国立成育医療研究センター生体防御系内科部感染症科 新潟大学医学部小児科学教室	宮入 烈 齋藤 昭彦
1)	生後3か月未満の児に対するperamivirの有効性と安全性の検討	旭川厚生病院小児科	坂田 宏
2)	16S rRNA遺伝子解析により罹患時期および自然軽快を推測できた <i>Mycoplasma hominis</i> 髄膜炎症例	産業医科大学小児科	多久 佳祐
3)	溶血性連鎖球菌感染症多発とunderdiagnosis について	みさとファミリークリニック	松田 正
4)	新生児・乳幼児RSV気管支炎・細気管支炎に対する予防的抗菌薬投与の意義	伊勢赤十字病院小児科/新生児科	東川 正宗
1	委員会報告		2 題
1	日本感染症学会 新専門医制度における感染症専門医審議会報告—感染症専門医制度改革の現状について—	司会: 日本感染症学会理事長 日本感染症学会専門審議委員会委員長	岩田 敏 安川 正貴
2	日本化学療法学会・日本感染症学会・日本臨床微生物学会三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス事業		

- 司会：三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員会委員長 渡辺 彰
 1) 急性単純性膀胱炎・複雑性尿路感染症 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス実務委員会泌尿器科領域責任者 山本 新吾
 m ランチョンセミナー 26題
- 1 耐性菌と流行性ウイルスに対する感染制御 司会：長崎大学 河野 茂
 東京医科大学微生物学分野，東京医科大学茨城医療センター感染制御部 松本 哲哉
 共催：Meiji Seika ファルマ株式会社
- 2 AMR時代に求められる感染症診療—新しい診断法を中心に— 司会：川崎医科大学小児科学講座 尾内 一信
 東邦大学医学部微生物・感染症学講座 館田 一博
 共催：旭化成ファーマ株式会社
- 3 New data about the importance of anaerobes including *C. difficile* in infectious diseases.
 司会：愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学 三嶋 廣繁
 Institute of Clinical Microbiology, University of Szeged, Szeged, Hungary,
 National Reference Laboratory for Anaerobes in Hungary Elisabeth Nagy
 共催：ミヤリサン製薬株式会社
- 4 増加する肺アスペルギルス症合併症例
 司会：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科展開医療科学講座呼吸器内科学 分野（第二内科） 迎 寛
 1) 肺アスペルギルス症の診断と治療—最近の話題と今後の展望— 埼玉医科大学感染症科・感染制御科 前崎 繁文
 2) 肺非結核性抗酸菌症と肺アスペルギルス症の合併について 複十字病院呼吸器センター 佐々木結花
 共催：ファイザー株式会社
- 5 抗菌薬適正使用とプロカルシトニン 司会：琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座 藤田 次郎
 1) 抗菌薬適正使用における PCT の現状と今後の展望 大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 門田 淳一
 2) 市中肺炎入院患者においてプロカルシトニンガイド下抗菌薬治療は安全に抗菌薬投与を減らせるか？
 倉敷中央病院呼吸器内科 伊藤 明広
 共催：サーモフィッシャーダイアグノスティックス株式会社
- 6 HIV/HCV感染症の最新のトピックス 司会：国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター 岡 慎一
 1) HIV感染者の Aging と長期合併症 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター 照屋 勝治
 2) HCV/HIV 重複感染，進化するインターフェロンフリー治療 九州大学病院総合診療科 古庄 憲浩
 共催：MSD 株式会社
- 7 結核診療での QFT3G と Tスポットの診断性能の比較 司会：慶應義塾大学病院感染制御センター 長谷川直樹
 長崎原爆諫早病院呼吸器科 福島喜代康
 共催：極東製薬工業株式会社
- 8 Tenofovir Alafenamide based regimen の臨床的有用性
 司会：東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野 四柳 宏
 1) Tenofovir Alafenamideの位置付け 横浜市立市民病院感染症内科 立川 夏夫
 2) ゲンボイヤ[®] 配合錠の使用経験 大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部 渡邊 大
 共催：鳥居薬品株式会社
- 9 ウイルス感染防御と乳酸菌 司会：札幌医科大学医学部小児科学講座 堤 裕幸
 順天堂大学医学部・大学院医学研究科感染制御学講座 山本 典生
 キリン株式会社健康技術研究所 金山 雅也
 共催：キリンホールディングス株式会社
- 10 いま，そこにある感染症の危機～院内感染症アウトブレイクから自然災害，グローバル感染症まで～
 司会：東京大学大学院医学系研究科病因病理学専攻感染制御学 森屋 恭爾
 長崎大学医歯薬学総合研究科臨床感染症学，長崎大学病院感染制御教育センター 泉川 公一
 共催：大正富山医薬品株式会社
- 11 侵襲性カンジダ症の治療戦略 司会：千葉大学真菌医学研究センター真菌症研究部門臨床感染症分野 亀井 克彦
 愛知医科大学大学院医学研究科臨床感染症学 三嶋 廣繁
 共催：アステラス製薬株式会社
- 12 より効果的なインフルエンザの予防と治療に向けて 司会：東北大学加齢医学研究所抗感染症薬開発寄附研究部門 渡辺 彰
 東京大学医科学研究所感染・免疫部門ウイルス感染分野 山下 誠
 共催：第一三共株式会社
- 13 重症呼吸不全に対する ECMO 療法—インフルエンザ ARDS を中心に— 司会：岡山労災病院 森島 恒雄
 かわぐち心臓呼吸器病院 竹田 晋浩
 共催：武田薬品工業株式会社
- 14 MRSA アクティブサーベイランスの医療経済効果とは？
 司会：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野（臨床検査医学） 柳原 克紀
 東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学 五十嵐 中
 共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
- 15 Real World におけるドルテグラビルの役割“Dolutegravir at the core”
 司会：ヴィーブヘルスケア株式会社メディカル・アフェアーズ部門 古賀 一郎
 Global Medical Director, ViiV Healthcare Andrew Zolopa
 共催：ヴィーブヘルスケア株式会社/塩野義製薬株式会社
- 16 新しい肺炎診療ガイドラインにおけるニューキノロン系薬の役割 司会：東北大学大学院感染制御・検査診断学 賀来 満夫

- 長崎大学病院第二内科（呼吸器・感染症・腎臓内科） 今村 圭文
共催：富士フィルムファーマ株式会社
- 17 薬剤耐性（AMR）対策アクションプランの概要と求められる抗菌薬の適正使用 司会：大分大学 門田 淳一
東邦大学医学部微生物・感染症学講座 館田 一博
共催：杏林製薬株式会社
- 18 MRSAガイドラインについて 司会：慶應義塾大学 相川 直樹
1) MRSA感染症の治療ガイドライン2017年改訂版 昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門 二木 芳人
2) MRSAガイドライン2017年改正を踏まえた適正使用とは 東北医科薬科大学大学院薬学研究科臨床感染症学教室 藤村 茂
共催：MSD 株式会社
- 19 帯状疱疹への新戦略～水痘ワクチンという選択～ 司会：まりこの皮フ科 本田まりこ
奈良県立医科大学皮膚科 浅田 秀夫
共催：阪大微生物病研究会
- 20 HIV感染症治療の最新動向 司会：横浜市立市民病院感染症内科 立川 夏夫
1) 抗HIV 治療ガイドライン2017 がん・感染症センター都立駒込病院感染症科 矢嶋敬史郎
2) PI の役割と今後の展望 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター 照屋 勝治
共催：ヤンセンファーマ株式会社
- 21 新しい敗血症の定義と診療ガイドライン～臨床へのインパクト～ 司会：京都大学大学院医学研究科初期診療・救急医学分野 小池 薫
慶應義塾大学医学部救急医学 佐々木淳一
共催：塩野義製薬株式会社
- 22 感染症検査の最新トピックス：質量分析法による迅速同定とAntimicrobial Stewardshipによる費用対効果 司会：福岡市立こども病院小児感染症科 青木 知信
東京医科大学微生物学分野 大楠 清文
共催：シスメックス株式会社
- 23 肺炎球菌ワクチンの最新事情～Think Globally, Act Locally～ 司会：東北大学加齢医学研究所抗感染症薬開発研究部門 渡辺 彰
1) グローバル化時代の肺炎球菌感染症：全国規模の分子疫学研究からその予防を考える 慶應義塾大学医学部感染症学教室 生方 公子
2) 次の医療ステージに向かうこれからの肺炎診療～これまでの肺炎治療の知見を活かすために～ 信楽園病院呼吸器内科 川崎 聡
共催：ファイザー株式会社
- 24 小児呼吸器感染症診療ガイドラインと予防接種の役割 司会：北里大学北里生命科学研究所 中山 哲夫
旭川厚生病院小児科 坂田 宏
共催：ジャパンワクチン株式会社/第一三共株式会社
- 25 薬剤感受性によるカルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌スクリーニングの落とし穴と解決策 司会：京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学 一山 智
東邦大学医学部微生物・感染症学講座 石井 良和
共催：ベックマン・コールター株式会社
- 26 これからの日本のインフルエンザ対策 司会：太田記念病院 佐藤 吉壮
けいゆう病院小児科・感染制御 菅谷 憲夫
共催：中外製薬株式会社
- n イブニングセミナー 5題
- 1 これからの肺炎マネージメント 司会：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科展開医療科学講座呼吸器内科学分野（第二内科） 迎 寛
1) キノロン耐性を生み出さないための適正使用を考える 札幌医科大学医学部微生物学講座 横田 伸一
2) 臨床現場での肺炎診療と抗菌薬使用の今後の動向 東北医科薬科大学病院感染症内科，東北医科薬科大学医学部感染制御部 関 雅文
共催：アステラス製薬株式会社/大正富山医薬品株式会社
- 2 結核におけるポイントオブケアテストのあり方 司会：信楽園病院呼吸器内科，感染症内科 青木 信樹
結核研究所抗酸菌部 御手洗 聡
共催：栄研化学株式会社
- 3 重症真菌感染症の救命にこだわる 司会：埼玉医科大学国際医療センター感染症科・感染制御科 光武耕太郎
1) 超ハイリスク造血細胞移植における真菌感染対策～そこまでやるか編～ 兵庫医科大学内科学血液内科 池亀 和博
2) 感染症医が関わる深在性真菌症コンサルテーションの実際 大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 掛屋 弘
共催：大日本住友製薬株式会社
- 4 高齢者における肺炎球菌感染症疫学とその予防 司会：佐賀大学医学部医学科国際医療学講座（国際医療・臨床感染症学分野），同附属病院感染制御部 青木 洋介
1) 高齢者の肺炎球菌感染症：疫学所見とワクチン効果 国立感染症研究所感染症疫学センター 大石 和徳
2) 各国の方針から見た肺炎球菌ワクチンについての考え方 東京病院呼吸器センター 永井 英明
共催：MSD 株式会社
- 5 嫌気性菌感染症の難治化要因としての薬剤耐性とバイオフィーム 司会：大阪市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学 掛屋 弘

- o 症例から学ぶ感染症セミナー
- 愛知医科大学病院感染症科, 愛知医科大学病院感染制御部 山岸 由佳 1題
 司会: 国立国際医療研究センター病院国際感染症センター 大曲 貴夫
 東邦大学医学部微生物・感染症学講座 館田 一博
 杏林大学医学部第1内科 皿谷 健, 倉井 大輔
 慶應義塾大学医学部呼吸器内科 南宮 湖
- 1) 症例1
 2) 症例2
- p ICD講習会
 エビデンス, ガイドラインではわからない感染対策のコツ 司会: 慶應義塾大学医学部感染症学教室 岩田 敏
 東邦大学医療センター大橋病院外科 草地 信也
 東邦大学医療センター大橋病院外科 草地 信也
 東京医科大学微生物学分野, 東京医科大学茨城医療センター感染制御部 松本 哲哉
 慶應義塾大学医学部感染症学教室 岩田 敏
- 1) 外科系
 2) 内科系
 3) 小児系

3. 雑誌刊行

1) 感染症学雑誌

91巻1号より逐次刊行した。
 地方会学術集会プログラムを掲載した。

2) Journal of Infection and Chemotherapy

Vol.23, No.1より逐次刊行した。
 インパクトファクター: 1.826
 JIC Award 2017 (Vol.23 p51-55)

Yasuhide Kawamoto, *et al.* Department of Laboratory Medicine, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences
 TNF- α inhibits the growth of *Legionella pneumophila* in airway epithelial cells by inducing apoptosis.

4. 地方会

- ・第66回東日本地方会学術集会は、平成29年10月31日～11月2日の3日間、神谷 茂会長のもとで第64回日本化学療法学会東日本支部総会（河合伸会長）と合同で東京都・京王プラザホテルで行われた。
 特別講演 2題、招請講演 2題、特別企画 1題、Meet the up-front translation researchers 1題、シンポジウム 5題、スポンサーシンポジウム 1題、ワークショップ 6題、スポンサーワークショップ 1題、教育講演 11題、クローズアップトピックス 1題、感染症セミナー 1題、教育セミナー 16題、イブニングセミナー 1題、ICD講習会 1題
 一般演題 237題（感染症：158題、化療：78題）
 参加人数 1080名
- ・第60回中日本地方会学術集会は、飯沼由嗣会長のもとで、第87回西日本地方会学術集会は、草野展周会長のもとで平成29年10月26日～28日の3日間、第65回日本化学療法学会西日本支部総会（迎 寛会長）と合同開催で長崎県・長崎ブリックホールで行われた。
 特別講演 3題、教育講演 13題、シンポジウム 12題、日本環境感染学会合同シンポジウム 1題、特別企画 1題、パネルディスカッション 2題、ワークショップ 1題、感染症セミナー 1題、イブニングセミナー 5題、ランチョンセミナー 12題、ICD講習会 1題
 一般演題 329題（中日本：73題、西日本：168題、西日本化療：88題）
 参加人数 1237名

5. 院内感染対策講習会

1) 講習内容

- ①高度な医療を提供する特定機能病院等の院内感染対策の推進及び近隣医療機関等への指導助言体制の充実を図ることを目的とした講習会

院内感染の基本 (ICTも含む)
 院内感染の経路とその対策
 院内感染関連微生物とその検査法 (国内外の最新の状況についても)
 抗菌薬の適正使用 (TDMも含む)
 アウトブレイクとその対応
 院内感染対策における大規模医療機関の役割 (災害時の感染対策も含む)
 感染症サーベイランス
 院内感染における行政との連携
 院内感染関連法令
 総合討論

- ②院内感染対策に関して地域において指導的立場を担うことが期待される病院等の従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会
 院内感染の基本 (ICTも含む)

院内感染の経路とその対策
 院内感染関連微生物とその検査法（国内外の最新の状況についても）
 抗菌薬の適正使用（TDMも含む）
 アウトブレイクとその対応
 院内感染対策の地域連携（災害時の感染対策も含む）
 院内感染における行政との連携
 院内感染関連法令
 総合討論

③. ②の受講対象となる医療機関と連携し、各医療機関の院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会

院内感染の基本（ICTも含む）
 院内感染の経路とその対策
 院内感染関連微生物とその検査法
 抗菌薬の適正使用（TDMも含む）
 アウトブレイクとその対応
 療養病床・慢性期医療における感染制御
 院内感染における行政との連携
 院内感染関連法令
 総合討論

2) 講習場所、期間及び人員

①. 高度な医療を提供する特定機能病院等の院内感染対策の推進及び近隣医療機関等への指導助言体制の充実を図ることを目的とした講習会

神戸国際会議場 国際会議場		平成30年 1月 19日、20日	109名
---------------	--	------------------	------

②. 院内感染対策に関して地域において指導的立場を担うことが期待される病院等の従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会

有楽町朝日ホール	(医師)	平成30年 2月 27日、28日	79名
	(看護師)	平成30年 2月 27日、28日	186名
	(薬剤師)	平成30年 2月 27日、28日	110名
	(臨床検査技師)	平成30年 2月 27日、28日	85名
神戸国際会議場メインホール	(医師)	平成30年 1月 19日、20日	82名
	(看護師)	平成30年 1月 19日、20日	185名
	(薬剤師)	平成30年 1月 19日、20日	88名
	(臨床検査技師)	平成30年 1月 19日、20日	90名

③. ②の受講対象となる医療機関と連携し、各医療機関の院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会

札幌医科大学講堂	(医師)	平成29年12月 9日、10日	24名
	(看護師)	平成29年12月 9日、10日	92名
	(薬剤師)	平成29年12月 9日、10日	35名
	(臨床検査技師)	平成29年12月 9日、10日	33名
有楽町朝日ホール	(医師)	平成30年 1月 11日、12日	49名
	(看護師)	平成30年 1月 11日、12日	204名
	(薬剤師)	平成30年 1月 11日、12日	85名
	(臨床検査技師)	平成30年 1月 11日、12日	78名
奈良県文化会館国際ホール	(医師)	平成29年12月 14日、15日	46名
	(看護師)	平成29年12月 14日、15日	181名
	(薬剤師)	平成29年12月 14日、15日	75名
	(臨床検査技師)	平成29年12月 14日、15日	66名
長崎大学文京キャンパス中部講堂	(医師)	平成30年 2月 7日、8日	46名
	(看護師)	平成30年 2月 7日、8日	120名
	(薬剤師)	平成30年 2月 7日、8日	47名
	(臨床検査技師)	平成30年 2月 7日、8日	43名

合計 2238名

6. 感染症専門医審議委員会

1) 感染症専門医試験合格者 83名

(敬称略)

朝倉 崇徳	荒川 悠	石井 茂樹	石岡 春彦	岩田 誠子	上村 悠	内田 大介	内田 隆一
梅屋 崇	大島 信治	大場雄一郎	大棟 浩平	岡 宏亮	沖中 敬二	奥村 隼也	織田錬太郎
越智 史博	小幡 史明	加藤 隼悟	神谷 泰子	彼谷 裕康	雁金 大樹	狩野 恵彦	菅野 芳明
北里 裕彦	金城 武士	隈部 綾子	小松 真成	齋藤 翔	齋藤那由多	齋藤 真理	佐上晋太郎
佐藤 瑞穂	志田 洋子	庄司 健介	白木 克哉	神宮 大輔	杉村 悟	鈴木 潤	鈴木 大介

瀬尾 幸子	関 由喜	瀧口 純司	武内 世生	張 仁美	津田 歩美	土戸 康弘	津覇 実史
手塚 宜行	土井 洋平	中西 雅樹	兒子 真之	野口 真吾	野口 太郎	蓮見 純平	濱田 信
林 栄治	林 健一	波呂 薫	福島 一彰	福盛 達也	古市 宗弘	古田健二郎	本間 哲也
前田 鎮男	牧野 淳	町田 久典	松井 昂介	丸毛 聡	水島 大輔	水野 泰志	三好 和康
武藤 義和	森田芙路子	八木 一馬	矢島 剛洋	八代 将登	安河内由美	安田菜穂子	倭 正也
山中 純子	弓場 達也	渡邊 直樹					

2) 更新者 205名

平成30年1月1日現在専門医数 1423名

3) 指導医 30名

4) 感染症専門医認定研修施設 280施設 (ホームページ参照)

5) 専門医育成経過措置としての連携研修施設 57施設 (ホームページ参照)

6) 感染症サマースクール2017

平成29年8月4日(金)～5日(土) 品川プリンスホテル

参加者: 61名

7. ガイド・ガイドライン作成委員会 (日本化学療法学会と合同)

1) 「JAID/JSC感染症治療ガイドライン」 尿路感染症・男性性器感染症、腸管感染症、菌性感染症をJICにオープンアクセスにて掲載した。

2) 「JAID/JSC感染症治療ガイドライン 敗血症およびカテーテル関連血流感染症」を感染症学雑誌に掲載した。

3) 「MRSA感染症の治療ガイドライン-改訂版-2017」を発行した。

8. 肺炎球菌ワクチン再接種問題検討委員会

1) 「肺炎球菌ワクチン再接種に関するガイドライン (改訂版)」を感染症学雑誌に掲載した。

9. 肺炎球菌血清型別調査委員会

1) Journal of Infection and Chemotherapyに報告書を投稿した。

Volume 23, Issue 8, Pages 538-544

10. 遺伝子検査検討委員会

1) 日本臨床微生物学会と合同で「敗血症などの重症感染症に対する遺伝子関連検査の実施指針について」を公表した。

11. ワクチン委員会

1) 日本呼吸器学会と合同で「65歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方 (第2版)」を発表した。

2) “風疹ゼロ”プロジェクトに賛同した。

12. 四学会合同事業

1) 8月20日(日)にSMBCホールにおいて合同セミナー「持ち込み病原体への対応-市中から海外から-」を開催した。(参加人数: 225名)

2) 「カルバペネムに耐性化傾向を示す腸内細菌科細菌の問題 (2017) -カルバペネマーゼ産生菌を対象とした感染対策の重要性-」を公表した。

13. 11月6日(日)イイノホール&カンファレンスセンターにおいて「新型インフルエンザの診療と対策に関する研修」を日本呼吸器学会と共催して行った(主催: 厚生労働省)。プログラムについては厚生労働省HP参照。

14. 8学会合同抗微生物薬適正推進検討委員会「抗菌薬適正使用支援プログラム実践のためのガイダンス」を発表した。

15. 三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス委員会

第9回 (2017年) 小児科領域感染症

16. 医学系研究の利益相反 (COI) に関する共通指針の改訂を行った。

17. ICD制度協議会 新規認定者 156名 総認定者数 3,384名 (当学会推薦)

※上記事業報告については、感染症学雑誌に掲載の議事録参照。

庶務報告

1. 会員数 正会員: 11,173名 賛助会員: 17件 平成30年2月28日現在
除名については該当者無し

2. 第91回日本感染症学会総会は平成29年4月6日、京王プラザホテルにおいて行った。

3. 平成29年度評議員会は平成29年4月6日、京王プラザホテルにおいて行った。

4. 理事会は6回行った。

5. 感染症学雑誌編集委員会は6回行った。
Journal of Infection and Chemotherapy編集委員会は6回行った。
6. 学会賞選考委員会は1回行った。
7. 専門医審議会2回、専門医育成・教育部会会議1回、新専門医制度検討WG1回、専門医試験委員会6回行った。
8. 学際化・国際化委員会は1回行った。
9. 臨床研究促進委員会は1回行った。
10. 肺炎球菌ワクチン再接種問題検討委員会は1回行った。
11. 遺伝子検査検討委員会は2回行った。
12. 男女共同参画推進委員会は1回行った。
13. 薬剤耐性感染症を対象とした抗菌薬ガイドライン作成に関する合同委員会は2回行った。
14. 四学会理事長懇談会は1回行った。
15. 経理事務打合会は1回行った。